

高岡市 千鳥丘小学校

●実施状況

- ・千鳥丘小学校の4年生が、同校に隣接するビオトープ「千鳥の森」および農業用排水路で地域の生態系について学びました。
- ・「駒方地区資源保全隊」協力のもと、生き物の観察を通じて生態系保存、水の大切さを学び伝えていくため、2007年から毎年実施しています。
- ・水質の調査にも取り組み、汚れの度合いを示す化学的酸素消費量(COD)と、性質を示す水素イオン濃度(pH)を簡易測定器により測りました。
- ・普段入ることのできないビオトープでの調査に、子供たちは時間を忘れて取り組んでいました。

場 所 : 高岡市千鳥丘小学校
(ビオトープ「千鳥の森」、農業用排水路)

実 施 日 : 令和元年 7月 10日(水曜日)

参 加 者 : 千鳥丘小学校 4年生 34 人
引率の先生 4 人
駒方地区資源保全隊 5 人
土地改良区、市、県職員 5 人
計 48 人

活動内容: 13時15分～15時
・水質調査(COD、pH)
・捕獲調査
・観察及び記録

捕獲生物: ハゼ、ドジョウ、アカハライモリ、
メダカ、シジミ貝、ヤゴ、タニシ、
アメンボ、カエル(各種)、ほか



●参加児童の感想

4年生 女子児童
ビオトープで、アカハライモリを見ました。いつも会えない生き物に会えたので、うれしかったです。すくすくと育ててほしいです。みんなと見れたのでよかったです。これからも大切にしていきたいと思います。

4年生 女子児童
みたことがない生き物を見つけました。つかまえて、さわったり、かんさつしたりしました。いつもは入れないビオトープの水の中に入ってつかまえました。最初の水しつ調査で生き物たちにとってすみやすいかんきょうだということも分かりました。

4年生 女子児童
はじめてどじょうをさわりました。最初はぬるぬるしてあまりさわりたくなかったけど、どんどんさわれるようになりました。これからいろいろな生き物にふれあって、ほかの生き物もさわれるようになりたいと思いました。